



平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(コード番号：8705)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 03-5543-8705

平成 29 年 3 月期第 2 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	1,444	△598	△509	△239
当期実績見込み (平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	1,463	△328	△302	△316
増 減 額 (B - A)	19	270	207	△77
増 減 率 (%)	1.3	—	—	—
(ご参考) 平成 28 年 3 月期実績	3,280	△693	△586	330

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間における我が国経済は、公共投資に底堅さが見られ、住宅投資も持ちなおしましたが、円高進行による企業収益の先行き不透明感から、設備投資が伸び悩みました。雇用は堅調を維持しながらも個人消費は横ばいとなり、回復傾向の中でも弱さが見られました。

商品市況は、貴金属は英国の EU 離脱による金融不安から上昇しましたが、米国の利上げが意識され下落に転じました。原油は供給過剰感から下落しましたが、生産調整に向けて産油国が協調姿勢を強めると反発、穀物は米国で記録的な豊作が見込まれたことから急落しました。これらの背景から、全国市場売買高は 26,728 千枚（前年同期比 104.7%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、1,298 百万円（前年同期比 111.0%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場におけるディーリングで利益をあげたものの、20 百万円の利益（前年同期比 57.5%）にとどまりました。

この結果、営業収益は 1,463 百万円（前年同期比 101.3%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、1,791 百万円（前年同期比 87.7%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 328 百万円となり、経常損失は 302 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は 316 百万円をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上